

## 令和4年度(令和3年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

## 1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	周南市徳山駅前賑わい交流施設			所管課	中心市街地活性化推進 ☎ 22-8438
所在地	周南市御幸通2丁目28番2				
設置年月日	平成30年2月3日				
設置目的	中心市街地において賑わいと交流の場を創出するとともに活性化を図り、もって持続可能な地域社会の形成及び福祉の向上を実現することを目的として設置				
施設概要	構造：鉄骨造3階建 総延床面積：5256.42㎡（徳山駅南北自由通路、市民活動支援センター、交番含） 主な施設：周南市立徳山駅前図書館、交流室（3室）、飲食施設、屋外デッキ等				
指定管理者	名称	カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社			
	代表者	代表取締役社長兼CEO 増田 宗昭			
	所在地	大阪府枚方市岡東町12番2号			
	連絡先	電話	0834-34-0834	E-mail	
		ホームページアドレス	https://shunan.ekimae-library.jp/		
指定期間	平成30年2月3日～令和5年3月31日			年数	5年間
募集方法	公募		料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務	(1)中心市街地の賑わいと交流の創出に関する事業の実施に関する業務 (2)中心市街地の活性化に資する情報発信等に関する事業の実施に関する業務 (3)施設の維持管理に関する業務 (4)施設の使用の許可に関する業務 (5)施設の使用に係る料金の収受に関する業務 (6)その他施設の設置目的を達するために必要な業務				

## 2. 施設の運営状況

目標管理	目標指標名		年度		R3年度	R4年度	
	入館者数			目標値		130万人	135万人
		実績値		150万人	—		
施設の稼働状況	利用区分等		利用目標	単位	利用実績	単位	稼働率(%)
	交流室の使用状況		900	件	951	件	39%
指定管理業務に 係る収支状況	項目		収支計画額(円)		実績額(円)		
	収入	指定管理料	53,887,000		※54,397,000		
		利用料金収入	2,863,000		1,851,580		
		その他の収入					
	計		56,750,000		56,248,580		
	支出	人件費	24,256,000		25,466,926		
		物件費	8,739,500		6,948,986		
委託料		19,250,000		19,131,238			
その他		4,504,500		5,363,100			
計		56,750,000		56,910,250			
参考	使用料収入						
	自主事業収入						
	自主事業経費						

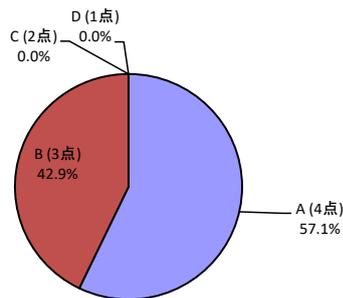
※指定管理料の実績額には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため市から休館要請した際に生じた利用料金の減収分等51万円が含まれています。

令和4年度(令和3年度分) 指定管理者評価表【評価】

施設名		周南市徳山駅前賑わい交流施設	
指定管理者名		カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	
項目	評価内容	評価事項・不適切事項等	評価
全体	目標の達成状況	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため臨時休館があったが、市民団体が主催するイベントの支援や、魅力あるイベント等の自主開催などにより、来館者数が目標値を大きく上回った。	A
組織	体制・人事	接遇研修や防災eラーニング、ウェアアクセシビリティ研修などの職員教育が行き届いており、利用者アンケートにおいても、交流室の予約、受付対応などに対する満足度は高い。時間帯等に応じて柔軟かつ適切にシフトが組まれ、効率的な運営が行われている。	A
業務	業務の運営	新型コロナウイルス感染拡大防止対策など施設運営が難しい状況の中、協定書や事業計画書に記載した業務を適正に行い、かつ中心市街地の賑わい創出に資する新しいイベントの開催等にも積極的に取り組んだ。	A
	施設の稼働状況	緊急事態宣言対象地域・まん延防止等重点措置対象地域の訪問歴のある者の貸出利用の自粛を促すことがあったが、交流室全体の稼働率は、前年度27%に対し、令和3年度は39%と大きく上回っており、施設サービスも高い水準で維持されている。	A
	施設の維持管理(清掃等)	適宜消毒等を行い施設が清潔に保たれた。また、 <u>公衆トイレや喫煙所など汚れやすい場所は職員により清掃回数を増やしたり、管理エリア外である駅前広場のボランティア清掃を365日欠かさず行った。</u>	A
	施設の維持管理(点検・修繕等)	設備・備品等適切に管理され、常に安全かつ快適に施設等を使用できる状態にした。また、指定管理者自らの費用負担によりCO2測定器を設置して、 <u>施設の換気のタイミングを可視化して冷暖房費の節減等に努めた。</u>	A
	緊急時の対応方法	災害時の対応マニュアルや職員等が新型コロナウイルス感染したときの対応マニュアルの作成とその徹底、避難訓練の実施、緊急時の連絡体制の整備など適切に行われている。	B
工創夫意	サービス向上及び経営改善に関する取組み	リアルイベントをオンラインに切り替えたり、「シニア・スマホ講座」や「周南「たとえば」どうでしょう」など市民の関心を引くイベントを実施するなど、様々な種類、手法によるイベント等を展開し、市民サービスの向上を図った。	A
広報	PR・情報提供の実施状況	ホームページ、SNSをはじめ、館内デジタルサイネージ、オリジナル広報紙SHUの刊行、えき・まちスタンドの設置等、積極的な情報提供を行っている。利用方法・料金等はリーフレットにわかりやすくまとめられ、制度の周知に役立てられている。	A
相談・連携	苦情処理の状況	苦情やトラブル事案に即時適切に対応し、市への相談・報告、職員間での「報告・連絡・相談」が徹底されている。	B
	情報共有	市への報告、又は市からの指示への対応は適切にされている。また、苦情やトラブル等が発生する都度、市に相談・連絡等をされている。	B
モニタリング	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理業務以外の経理と分離され、経理事務及び光熱水費の徴収・管理等は適切に行われている。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	調査は適切な時期・手法により実施されており、交流室の「利用料金」、「設備・貸出備品」、「今後の利用状況」について、いずれも「大いに満足」、「満足」という回答が約7割を占めた。	B
	書類の作成・提出	事業計画書、月次報告、年次報告等の書類が適切に作成され、期限内に提出されている。	B
評価コメント	<p>コロナ禍により、年2回、合わせて約2か月の休館期間があったが、地域住民が主催し地元の海について考える「せとうちブループロジェクト」や、周南市にない文化の交流・ライフスタイルの提案をテーマにした「蚕の市」の開催など新しいイベントの支援や企画等を行って、市民間の交流や中心市街地の活性化に大きく寄与した。また、長引くコロナ禍の影響により、令和3年3月にフタバ・フルーツ・パーラーが閉店し、賑わいを創出する施設としての使命を果たすことが難しい状況の中、飲食施設運営事業者を公募し、施設の魅力を増す店舗を入居させた。さらに、隣接する再開発事業にも協力するなど、指定期間4年目にしてもなお、市民等から親しまれ、年間入館者数が、開館当初の目標数120万人を超えているのは、指定管理者が積み重ねてきた努力の成果によるところが大きい。</p>		<p>総合評価</p> <p>A</p> <p>平均点</p> <p>3.6</p>

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A～D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

